

中1

2025年度

〈第3回〉

熊本県進学模試

解答・解説

2025年度 第3回 熊本県進学模試 中1 国語 模範解答

早稲田スクール
受験番号

--	--	--	--

氏名

--	--

塾の
クラス

1	/8
2	/16
3	/16
4	/10

得点	点
----	---

1																				
1	5	1	い	き	お	い	2	は	げ	し	い	3	け	い	び	4	う	ち	ゅう	
			盛	る			6	補	う			7	災	害		8	芸	術		
2																				
1	2	3	ウ	工	工	4	核	家	族	化	が	く	な	っ	た	こ	と			
			情	け	を	か	け	た	ら	、	い	っ	か	自	分	や	家			
			族	に	返	っ	て	く	る	点	。								30	
			A			人	と	の	っ	な	が	り	を	貯	め	る	こ	と		
			B			「幸	運	な	偶	未	然									
			7	ウ																
			8	強	い	っ	な	が	り	の	人	に	は	話	せ	な				
				い	悩	み	を	打	ち	明	け	る	こ	と	。					
			9	工																
3																				
1	3	4	わ	た	し	は	2	A	大	事	な	も	の	B	二	時	間			
			相	手	の	話	を	く	す	聞	き	上	手							
			4	ア	5	イ														
			6	「病	院	病	院	に	連	に	連	れ	連							
			7	マ	マ	を	い	ち	ば	ん	元	気	づ	け	た	お	ば	あ	30	
			と	い	う	こ	こ	と	。											
			8	ウ	9	ウ														
4																				
1	3	4	口	語	自	由	詩	2	A	イ	B	工								
			春	は	「	わ	た	し	「	と	お	な	い	ど	し					
			な	の	か	と	い	う	質	問	。								25	
			ウ	5	ウ															

△2点 ★3点 他は1点
◎記号2点 ○記号1点

国語解説

②

3 空欄cの前の内容とあとの内容が逆なので、逆接の接続詞「ところが」が入ります。

4 ——線①の直後で「人様に頼らずに～」という言葉の意味と、そう言われて育てられた背景が述べられています。

5 「投資」とは、あとで自分たちの得になることを予想してお金や力をつぎ込むことです。——線②の直後の「近所の家族にかけた情けは～息子や娘たちに返ってくる」が投資と同じ内容なので、ここをまとめます。

6 Aは、「以前は～できないと考えていた」ものです。——線③の直前に「つながりは貯めておけない」とあります。Bは、「つながりを貯めること」が育てたり作ったりするものを探します。——線③の直後に「つながりを貯めることが、豊かな未来には欠かせない」、そのあとに「貯めたつながりは『幸運な偶然』を育む」とあるので、「豊かな未来」か「幸運な偶然」を抜き出します。

7 ——線④の直後で例が挙げられたあと、「つながりを貯めた中から、誰かが〴〵何か、を始める確率は、株が大化けするよりも断然高い」とあるので、人は、お金よりも変化の可能性が高いことがわかります。

8 ——線⑤の直後の段落の「親や兄弟姉妹には相談できないけれど、友だちに打ち明けられる」、最後の段落の「悩みを相談できる」などをまとめます。

9 Ⅰは——線⑤の段落の内容に合います。

③

2 ——線①より前の、「わたし」がおばあちゃんに話している内容に着目します。

3 最初の段落に、おばあちゃんは「相手の話をどんどん引き出す聞き上手だった」とあります。

4 「わたし」は、「おばあちゃん以外にはぜっ

たいに話せない」、「ママやパパに話すと、きつと大騒ぎしてしまう」など、うまく話せないことを重大で深刻なこととしてとらえています。一方、おばあちゃんは、「話せなくても～いろんなことを楽しんでいるんでしょ?」と、それを重大でも深刻なことでもないと考えています。

5 ——線⑤の直前の「そしたらね」が指す内容を探します。この前でおばあちゃんは、「毎日、いろんなことを楽しんでいるんでしょ?～いろんなことを楽しんでいけばいい」と「わたし」に話しています。

6 おばあちゃんは——線⑥のあとで「大騒ぎ」していたママの様子を話しています。

7 ——線⑦の前で、おばあちゃんが「わたし」に尋ねた内容を指しています。

8 空欄bのあとに「こんなにおしゃべりのおばあちゃんが、お話ができなかったなんて」とあります。

9 「わたし」は話すことは苦手でも、学校のみんなにやさしい目を向けています。

④

3 「おなじ質問」は④行目の質問を指します。

4 「娘」の母、その母、さらにその母と、何世代も前からずっと一緒にいて、自分の娘であるかのように感じている気持ちです。

5 ⑦～⑬行目や⑰～⑲行目などから、長い時間の流れの中で命が続いてきたことが感じられます。

■出典■

②「ふるさとを元気にする仕事」

(『ふるさとを元気にする仕事』／山崎 亮／筑摩書房)

③「香葉とななつの秘密」

(『香葉とななつの秘密』／福田隆浩／講談社)

④「質問」

(『日本語を味わう名詩入門』／新川和江／あすなろ書房)

2025年度 第3回 熊本県進学模試 中1 理科

もはん
模範解答

早稲田スクール
受 験 番 号

氏 名

各1点
(◎は完答)

1	2	3	4	5	得 点
/10	/8	/10	/10	/12	点

1	(1)	エ	
	(2)	イ	
2	(1)	双眼実体顕微鏡	
	◎(2)①	ア	◎(2)② イ
	◎(3)①	B	◎(3)② C ◎(3)③ A
3	(1)	X	レボルバー
	(1)	Y	しほり
	◎(2)	ア→ウ→イ→エ	
	(3)	視野が広くなり，観察物を見つけやすいから。	
	(4)	ウ	

2				
(1)	A	めしべ		
	C	がく		
◎(2)	C → D → B → A			
(3)	離	弁	花	
(4)	g			
(5)	P			
◎(6)	記号	X		
	名称	花粉のう		
◎(7)	イ, ウ			

(1)	子房	
(2)	単子葉 類	
(3)	ア	
(4)	◎(1)	R
	◎(2) 名称	胞子のう
	◎(2) 記号	P
	◎(3) a	Y b イ
(5)	◎(4)	からだを地面に固定する。
	◎(5) B	イ，カ
	◎(5) D	ウ，オ

1	(1)	脊椎 動物
	(2)	胎生
	(3)	哺乳 類
	◎(4)	X エ Y イ Z ア
	(5)	子はえらと皮膚で，親は肺と皮膚で呼吸する。
2	◎(6)①	C
	◎(6)②	A
	(1)	外とう膜
	◎(2)	イ，エ
	◎(3)①	ア ◎(3)② イ

1	◎(1)	ア，エ，カ	
	(2)	非金属	
	(3)	ア	
	(4)	◎(1) ①	6.0 cm ³
		◎(1) ②	2.7 g/cm ³
2	(4)	◎(3)	エ
		◎(4) a	ア b イ c ア
	(1)	白くにごった。	
	(2)	二酸化炭素	
	(3)	有機物	
	◎(4)	ア，ウ，エ	
	◎(5)	A イ B ウ C ア	

理科解説

①

- 1(1) ルーペは目に近づけて持ち、観察するものが動かせるときは観察物を前後に動かして、よく見える位置をさがす。
- 2(2) 双眼実体顕微鏡には、観察物によってステージの色(黒と白)を変えられる、倍率が20~40倍である、視野の向きが実際の向きと同じであるという特徴もある。
- 3(3) 対物レンズの倍率を高くすると、プレパラートとの距離は短くなり、視野はせまくなる。また、視野の明るさは暗くなる。
- (4) 顕微鏡では上下左右が逆に見えるので、図2の生物は実際には上のほうにある。

②

- (1)(2) 外側から、がく(C)→花弁(D)→おしべ(B)→めしべ(A)の順についている。
- (4) 受粉後、子房(g)が果実になり、子房の中の胚珠(f)が種子になる。
- (5) Pは今年さいた雌花、Qは今年さいた雄花、Rは1年前の雌花、Sは2年前の雌花である。
- (6) Xは花粉のう、Yは胚珠で、花粉は花粉のうに入っている。
- (7) アブラナは被子植物、マツは裸子植物である。ア、エ、オは被子植物、イ、ウは裸子植物である。

③

- (1)(2) A、Bは胚珠が子房の中にある被子植物で、そのうち、子葉が1枚であるAは単子葉類である。
- (3) Bは双子葉類で、双子葉類の葉脈は網目状で、根は主根と側根からなる。
- (4)① P、Qは葉、Rは茎、Sは根である。
- ③ Xは雄株、Yは雌株で、胞子のうは雌株にある。
- (5) Dはシダ植物である。アは被子植物の単子葉類、イ、カは双子葉類、ウ、オはシダ

植物、エはコケ植物である。

④

- 1(3) Aは哺乳類、Bは鳥類、Cはは虫類、Dは魚類、Eは両生類である。
- (4) Xは鳥類、は虫類にあてはまり、魚類、両生類にあてはまらない特徴なので「陸上に卵をうむ。」、Yは鳥類にあてはまり、は虫類にあてはまらない特徴なので「からだが羽毛でおおわれている。」、Zは魚類にあてはまり、両生類にあてはまらない特徴なので「からだがうろこでおおわれている。」である。
- 2(2) イカは軟体動物である。アは節足動物、イ、エは軟体動物、ウ、オは軟体動物・節足動物以外の無脊椎動物である。

⑤

- 1(1) 金属には、電気をよく通す、熱を伝えやすい、たたくと広がる、引っ張るとのびる、みがくと特有の光沢が出るなどの共通の性質がある。
- (3) 密度が大きいほど、同じ質量で比べたときの体積は小さくなる。
- (4)① $56.0 - 50.0 = 6.0(\text{cm}^3)$
- ② 「物質の密度(g/cm^3) = 物質の質量(g) ÷ 物質の体積(cm^3)」より、 $16.2(\text{g}) \div 6.0(\text{cm}^3) = 2.7(\text{g}/\text{cm}^3)$ である。
- ④ 液体の密度が物体Yの密度より大きいとき、物体Yは液体に浮く。
- 2(1)~(3) 炭素をふくみ、燃やすと二酸化炭素を発生する物質を有機物という。石灰水は二酸化炭素と反応して白くにごる。
- (4) ア、ウ、エは有機物、イ、オは無機物である。炭素そのものは無機物である。二酸化炭素は炭素をふくむが、無機物に分類される。
- (5) 水にとけて加熱すると火がつく物質Aは砂糖、水にとけず加熱すると火がつく物質Bはデンプン、水にとけて加熱しても火がつかない物質Cは食塩である。

2025年度 第3回 熊本県進学模試 中1 社会

もはん
模範解答

早稲田スクール
受験番号

氏名

1	2	3	4	5	6	得点
/8	/8	/9	/8	/8	/9	点

各1点
(◎は完答)

1

(1)	ユニオンジャック			
(2)	工			
(3)	内	陸	国	
(4)	インド			
◎ (5)	成り立ち	工		
	基準	キ		
(6)	ウ			
(7)	ア			
(8)	イ			

2

(1)	①	経線	イ
		都市	カ
	②	日付を1日	
		遅らせる。	
	③	工	
	④	カ	
(2)	①	工	
	②	ア	
(3)	地球儀		
(4)	ウ		

3

(1)	ウ		
(2)	①	兵庫	県
	②	ア	
(3)	①	領空	
	②	ウ	
	③	工	
(4)	①	イ	
	◎ ②	都道府県	岩手県
		都道府県庁所在地	盛岡市
	◎ ③	漢字記号	島
		イ	

4

(1)	ア		
(2)	原	人	
(3)	イ		
(4)	イ		
(5)	ウ		
(6)	くさび形		文字
(7)	ウ		
(8)	7		世紀

5

(1)	①	ア	
	②	ウ	
	③	ヘレニズム	文化
(2)	①	孔子	
	②	工	
	③	始	皇帝
	◎ ④	ア	工
	⑤	工	

(2)(3)順不同

6

(1)	ウ		
(2)	たて穴住居		
(3)	ウ		
(4)	◎ ①	X	ア
		Y	邪馬台国
	②	(例) 中国皇帝に貢ぎ物を献上し、皇帝から国王の地位	
	③	委(倭)	
(5)	工		
(6)	工		
(7)	大和政権(大和朝廷)		

社会解説

①

- (2) アはボリビア、イはコロンビア、ウはペルーについて述べた文である。
- (6) 海洋と陸地の面積の割合はおよそ7対3であり、世界の海洋の面積が約3億6000万 km^2 なので、 $3\text{億}6000\text{万} \times 10 \div 7$ という計算により、約5億1000万 km^2 と求めることができる。
- (7) 図2の左の円はヨーロッパ州、右の円はアジア州である。ロシア連邦はウラル山脈を境にヨーロッパ州とアジア州にまたがっている国である。

②

- (1)③ 地図4中のX-Y間の緯度の差は40度である。赤道から北極点までと赤道から南極点までは90度ずつであるため、X-Y間の実際の距離は $20000 \times 40 \div 180 = 4444.44\cdots$ という計算で求めることができる。
- (2)① I. 地図5は中心からの距離と方位が正しい地図であり、どの地点をとっても距離と方位が正しいわけではない。

II. 緯度が高くなるほど実際の面積が大きく表されるのは、緯線と経線が直角に交わる地図の特徴である。

- (4) Cで示した地点の緯度と経度は、北緯40度・西経140度である。

③

- (2)② 東京とある都市の時差は8時間である。経度差は $8 \times 15 = 120$ となり、 $135 - 120 = 15$ から、東経15度と求めることができる。
- (3)② 日本は国土面積に対する領海と排他的経済水域の面積の合計の割合が特に大きいことからウと判断できる。アはブラジル、イはアメリカ合衆国、エはインドネシアである。
- ③ I. 与那国島について述べた文。II. 竹島について述べた文。
- (4)① Aは北海道、Bは埼玉県、Cは和歌山県、Dは沖縄県を示している。

④

- (3) イは旧石器時代のようにすについて述べた文である。
- (4) II. メソポタミア文明について述べた文である。
- (5) モヘンジョ・ダロは、インダス文明の都市遺跡である。アはエジプト文明、イはメソポタミア文明、エは中国文明が栄えた地域である。
- (7) アヒンドゥー教は多神教である。イ『コーラン』を聖典としているのはイスラム教。キリスト教の聖典は『聖書(新約聖書)』。ユダヤ教の聖典は『旧約聖書』である。

⑤

- (1)① 共和政が行われたり、コロッセオが建てられたりしたのは古代のローマである。
- ② I. ギリシャを征服したあとにアレクサンドロス大王のもとでペルシャを征服したのは、ローマ帝国ではなくマケドニアである。
- (2)② カードAは漢、カードCは秦についてまとめたものである。

⑥

- (1) ア黒曜石の原産地は中国地方や九州地方にも見られる。イ黒曜石が見つかったすべての範囲に黒曜石の原産地が含まれている。エ朝鮮半島で見つかったのは黒曜石である。
- (3) I. ナウマンゾウやマンモスのような大型の動物を捕らえて食べていたのは、縄文時代ではなく旧石器時代である。
- (4)① Aは『漢書』地理志、Bは『後漢書』東夷伝、Cは『魏志』倭人伝であることから判断する。
- (5) 人々が集団で稲作を行うようになると、土地や水などをめぐむ同士の争いがおこるようになり、それらをまとめるクニが成立した。
- (6) 江田船山古墳は熊本県にある古墳で鉄刀が、稲荷山古墳は埼玉県にある古墳で鉄剣が出土され、どちらにもワカタケル大王の名が刻まれている。

早稲田スクール
受験番号

--	--	--	--	--	--

氏 名

--	--

☆は2点
他は各1点
(◎は完答)

1	2	3	4	5	得点
/10	/9	/13	/15	/3	点

1

(1)	3
(2)	-5
(3)	$-\frac{8}{9}$
(4)	$\frac{13}{20} [0.65]$
(5)	120
(6)	$-\frac{1}{9}$
(7)	72
(8)	25
(9)	$-\frac{1}{5} [-0.2]$
(10)	$\frac{48}{25} [1.92]$

2

(1)	-5km (戻る)
◎ (2)	$-2 \rightarrow -1.5 \rightarrow -\frac{7}{5} \rightarrow$ $\rightarrow 0 \rightarrow +0.2 \rightarrow \frac{3}{2}$
◎ (3)	イ, エ
(4)	$2^2 \times 3^3 \times 5$
(5) ☆	35 人
(6)	① 4 点
	② ☆ 95 点

順不同

3

(1)	①	y
	②	$3a^2b$
	③	$\frac{x}{9} [\frac{1}{9}x]$
	④	$-\frac{m-5}{6} *1$
	⑤	$\frac{5x}{y}$
	⑥	$-x + \frac{y}{3} *2$
	⑦	$-7x^2 + \frac{y-2}{2} *3$
(2)	①	x
	②	$6x+5$
	③	$-x-10$
	④	$-49x$
	⑤	$-2x$
	⑥	$\frac{x-60}{30} *4$

4

(1) ☆	65
(2)	① ☆ $100x$ (cm)
	② ☆ $\frac{m}{60} [\frac{1}{60}m]$ (時間)
(3) ☆	$7x-y$ (円)
(4) ☆	$1000x-18a$ (m)
(5) ☆	$8d+5$
(6)	① $\frac{13}{10}a [1.3a]$ (円)
	② ☆ $\frac{3}{10}a-400 *5$ (円)

5

(1)	(+)3 (の位置)
(2) ☆	2

*1 $-\frac{1}{6}(m-5)$ 等も可

*2 $-x + \frac{1}{3}y$ 等も可

*3 $-7x^2 + \frac{1}{2}(y-2)$ 等も可

*4 $\frac{1}{30}(x-60)$ 等も可

*5 $0.3a-400$ 等も可

数学解説

1

$$(1) (+9) + (-3) + (-8) + (+5)$$

$$= 9 - 3 - 8 + 5$$

$$= 9 + 5 - 3 - 8$$

$$= 14 - 11$$

$$= 3$$

$$(2) -4 + 7 - 8$$

$$= -12 + 7$$

$$= -5$$

$$(3) -\frac{5}{9} + \frac{1}{6} - \frac{1}{2}$$

$$= -\frac{10}{18} + \frac{3}{18} - \frac{9}{18}$$

$$= -\frac{19}{18} + \frac{3}{18}$$

$$= -\frac{16}{18}$$

$$= -\frac{8}{9}$$

$$(4) -\frac{1}{4} - \left(-\frac{3}{5}\right) + 0.3$$

$$= -\frac{5}{20} + \frac{12}{20} + \frac{3}{10}$$

$$= \frac{7}{20} + \frac{6}{20}$$

$$= \frac{13}{20}$$

$$(5) (-6) \times (-4) \times 5$$

$$= 24 \times 5$$

$$= 120$$

$$(6) \left(-\frac{1}{12}\right) \div \frac{3}{4}$$

$$= \left(-\frac{1}{12}\right) \times \frac{4}{3}$$

$$= -\frac{1 \times 4}{12 \times 3}$$

$$= -\frac{1}{9}$$

$$(7) (-2)^3 \times (-3^2)$$

$$= -8 \times (-9)$$

$$= 72$$

$$(8) \left(-\frac{5}{8}\right) \times 24 \div \left(-\frac{3}{5}\right)$$

$$= \left(-\frac{5}{8}\right) \times 24 \times \left(-\frac{5}{3}\right)$$

$$= \frac{5 \times \overset{3^1}{\cancel{24}} \times 5}{\underset{1}{8} \times \underset{1}{\cancel{3}}}$$

$$= 25$$

$$(9) \frac{1}{20} - \left(-\frac{1}{6}\right)^2 \times 9$$

$$= \frac{1}{20} - \frac{1}{36} \times 9$$

$$= \frac{1}{20} - \frac{1}{4}$$

$$= \frac{1}{20} - \frac{5}{20}$$

$$= -\frac{\overset{1}{\cancel{4}}}{\underset{5}{20}}$$

$$= -\frac{1}{5}$$

$$(10) 10 \times (-0.4)^2 - \left(\frac{2}{5}\right)^2 \times (-2)$$

$$= 10 \times \left(-\frac{2}{5}\right)^2 - \frac{4}{25} \times (-2)$$

$$= 10 \times \frac{4}{25} - \frac{4}{25} \times (-2)$$

$$= \frac{4}{25} \times \{10 - (-2)\}$$

$$= \frac{4}{25} \times 12$$

$$= \frac{48}{25}$$

2

(1) 反対の性質を持つ言葉を使ってもとの内容と同じ内容を表すには、数の符号を反対にする。

(2) 分数は小数に直して考える。

$$-\frac{7}{5} = -(7 \div 5) = -1.4, \quad \frac{3}{2} = 3 \div 2 = 1.5 \text{である。}$$

負の数は、絶対値が大きいほど小さく、

$$1.4 < 1.5 < 2 \text{より、} -2 < -1.5 < -1.4 \text{となる。}$$

(3) 絶対値は、数直線上で原点からの距離であるため、それぞれの数の絶対値は次のようになる。

$$\text{ア} \cdots 3 \quad \text{イ} \cdots \frac{7}{2} \quad \text{ウ} \cdots 0 \quad \text{エ} \cdots 4 \quad \text{オ} \cdots \frac{8}{3}$$

(4) 540を素数でわっていき、その結果を積の形で表すと、 $540 = 2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 3 \times 5$ とわかる。

これを指数を使って表す。

(5) 420を素因数分解すると、 $420=2^2 \times 3 \times 5 \times 7$
 175を素因数分解すると、 $175=5^2 \times 7$
 これより、420と175の最大公約数は、 $5 \times 7=35$
 よって、最も多くて35人の生徒に分けることができる。

(6)① AはBより6点低く、CはBより2点低い。
 よって、得点はCの方がAより高いから、
 その差は、 $-2-(-6)=4$ (点)
 ② 基準(Bの得点)との差の平均は、
 $(-6+0-2+14-1+25) \div 6=30 \div 6=5$ (点)
 これより、Bの得点は、 $75-5=70$ (点)
 よって、Fの得点は、 $70+25=95$ (点)

3

(1)① $1 \times y$

$$=y$$

② $b \times a \times 3 \times a$

$$=3 \times a \times a \times b$$

$$=3a^2b$$

③ $x \div 9$

$$=x \times \frac{1}{9}$$

$$=\frac{x}{9}$$

④ $(m-5) \div (-6)$

$$=(m-5) \times \left(-\frac{1}{6}\right)$$

$$=-\frac{m-5}{6}$$

⑤ $x \div y \times 5$

$$=x \times \frac{1}{y} \times 5$$

$$=\frac{5x}{y}$$

⑥ $x \times (-1) + y \div 3$

$$=-x + y \times \frac{1}{3}$$

$$=-x + \frac{y}{3}$$

⑦ $x \times x \times (-7) + (y-2) \div 2$

$$=-7 \times x \times x + (y-2) \times \frac{1}{2}$$

$$=-7x^2 + \frac{y-2}{2}$$

(2)① $3x+6x-8x$

$$=(3+6-8)x$$

$$=x$$

② $4x-4+2x+9$

$$=4x+2x-4+9$$

$$=6x+5$$

③ $(6x-5)-(7x+5)$

$$=6x-5-7x-5$$

$$=-x-10$$

④ $21x \div \left(-\frac{3}{7}\right)$

$$=21x \times \left(-\frac{7}{3}\right)$$

$$=-49x$$

⑤ $4(x-9)-6(x-6)$

$$=4x-36-6x+36$$

$$=-2x$$

⑥ $\frac{6x-5}{5} - \frac{7x+6}{6}$

$$=\frac{6(6x-5)}{30} - \frac{5(7x+6)}{30}$$

$$=\frac{6(6x-5)-5(7x+6)}{30}$$

$$=\frac{36x-30-35x-30}{30}$$

$$=\frac{x-60}{30}$$

4

(1) $2x^2-3x$

$$=2 \times (-5)^2 - 3 \times (-5)$$

$$=50+15=65$$

(2)① $1\text{m}=100\text{cm}$ だから、 $x\text{m}=100x\text{cm}$

② $1\text{時間}=60\text{分}$ より、 $1\text{分}=\frac{1}{60}\text{時間}$

$$\text{よって、} m\text{分}=\frac{m}{60}\text{時間}$$

(3) 出し合った金額の合計は、 $x \times 7=7x$ (円)

$$y\text{円余るから、品物1個の値段は、}7x-y\text{(円)}$$

(4) 「道のり=速さ×時間」より、

$$\text{歩いた道のりは、} a \times 18=18a\text{(m)}$$

$$\text{ここで、} 1\text{km}=1000\text{m}\text{だから、} x\text{km}=1000x\text{m}$$

$$\text{よって、残りの道のりは、} 1000x-18a\text{(m)}$$

(5) 「わられる数=わる数×商+余り」だから、

$$\text{求める整数は、} 8 \times d+5\text{より、} 8d+5$$

(6) 「定価 = 原価 + 利益」を利用する。

① 利益は、 $a \times \frac{3}{10} = \frac{3}{10}a$ (円)だから、この品物の定価は、 $a + \frac{3}{10}a = \frac{13}{10}a$ (円)

② 定価の400円引きは、 $\frac{13}{10}a - 400$ (円)

利益は、この売り値から原価の a 円をひいて、

$$\left(\frac{13}{10}a - 400\right) - a = \frac{3}{10}a - 400 \text{ (円)}$$

5

正の方向への移動は+で、
負の方向への移動は-で表
される。よって、それぞ
れの出たとき、コマは右
の表のように移動する。

さいころの目と移動量	
目の数	移動
1	-1
2	+2
3	-3
4	+4
5	-5
6	+6

(1) 3の目が出ると、コマは負の方向に3だけ移動し、
6の目が出ると、コマは正の方向に6だけ移動する。

よって、最後に移動するのは、

$$0 + (-3) + (+6) = 3 \text{ より、} +3 \text{ の位置。}$$

(2) 1, 2, 3, 4, 6の目が1回ずつ、5の目が2回
出たことにより、コマが移動する位置は、
 $0 + (-1) + (+2) + (-3) + (+4) + (+6) + (-5) + (-5)$
 $= 8 - 10 = -2 \cdots 7 \text{ 回目のあとの位置}$

8回目のあとは、数直線の0の位置に移動し
たから、8回目に出た目の数は、 $0 - (-2) = 2$
より、2となる。

早稲田スクール
受験番号

--	--	--	--	--

氏 名

--	--

★は2点
他は各1点
(◎は完答)

1	2	3	4	5	6	7	得点
/5	/5	/12	/5	/5	/6	/12	点

1	(1)	1	イ	2	ウ							
	(2)	1	ウ	2	ウ	3	イ					
2	(1)	ウ	(2)	キ	(3)	力	(4)	ア	(5)	エ		
◎ 3 ★	(1)	He			is		(2)	don't		speak		
	(3)	can't[cannot]			swim		(4)	Do		practice		
	(5)	Are			you		(6)	That's		a		
4	(1)	Is this a map?										
	(2)	What do you study?										
	(3)	You play basketball well.										
	(4)	She is[She's] a high school student.										
	(5)	Who is he?										
5	(1)	Is that a library?										
	(2)	My mother is a nurse.										
	(3)	I can sing this song.										
	(4)	That boy is not a baseball fan.										
	(5)	What season do you like?										
◎ 6 ★	(1)	Can you use this computer?										
	(2)	I read a book[books] every day.										
	(3)	This is not[isn't] an apple.										
7	(1)	①	ウ	③	ア	⑤	オ					
	(2)	★	I have a[one] dog and a[one] cat.[I have a[one] cat and a[one] dog.]									
	(3)	ア										
	(4)	★	私は(毎週)火曜日と土曜日に私のイヌ[犬]と(その)公園へ行きます。									
	(5)	①	○	②	○	③	○	④	×			

英語解説

①【放送された文章】

(1)

- 1 ア Hi, I'm Mike. I'm a soccer fan.
イ Hi, I'm Mike. I'm a baseball player.
ウ Hi, I'm Mike. I play basketball.
- 2 ア My name is Mary Smith. I have a cat.
イ My name is Mary Smith. I have a book.
ウ My name is Mary Smith. I have a dog.

(2)

- 1 Jane : Hi, Mamoru.
Mamoru : Hi, Jane. Is this your bike?
- 2 Jane : I like music very much.
Mamoru : Me, too. What do you play?
- 3 Jane : Mamoru, that is my brother.
Mamoru : I see. Who is that girl?

②

- (1) 《Is he ~?》にはYes, he is.またはNo, he is not[he's not / he isn't].で答える。
- (2) 《Who's[Who is] ~?》にはHe[She] is ~.で答える。《that man》は男性を表すので、He's[He is] ~.を選ぶ。
- (3) 《Do you + 一般動詞~?》にはNo, I don't [do not].またはYes, I do.で答える。
- (4) 《Are you ~?》にはYes, I am.またはNo, I am[I'm] not.で答える。
- (5) 《What's[What is] this?》にはIt's[It is] ~.で答える。

③

- (1) 「彼は~です。」は《He is[He's] ~.》で表す。
- (2) 「私は~しません。」は《I don't + 一般動

詞~.》で表す。「~を話す」speak

- (3) 「~することができない」は《can't [cannot] + 一般動詞~》で表す。「速く泳ぐ」swim fast
- (4) 「あなたは~しますか。」は《Do you + 一般動詞~?》で表す。「~を練習する」practice
- (5) 「あなたは~ですか。」は《Are you ~?》で表す。
- (6) 「あれは~です。」は《That's[That is] ~.》で表す。「(1つの)病院」はaをつけて表すことに注意。

④

- (1) be動詞を用いた疑問文はbe動詞を主語の前に置いて作る。
- (2) 下線部が「もの」を表すので、「何」《what》を用いた疑問文を作る。
- (3) 「あなたは上手なバスケットボールの選手です。」を「あなたは上手にバスケットボールをします。」に書きかえる。「上手にバスケットボールをする」play basketball well
- (4) 主語を「彼女は」sheにかえるので、amをisにかえる。
- (5) 下線部が「人」を表すので、「だれ」《who》を用いた疑問文を作る。

⑤

- (1) 「あれは~ですか。」《Is that ~?》
- (2) 「私の母は~です。」《My mother is ~.》, 「(1人の)看護師」a nurse
- (3) 「私は~することができます。」《I can + 一般動詞~.》, 「この歌を歌う」sing this song
- (4) 「あの少年は~ではありません。」《That boy is not ~.》, 「(1人の)野球ファン」a baseball fan

(5) 「何の～」とたずねるときは《What+名詞～》を文頭に置き、うしろには疑問文の語順を続ける。

⑥

- (1) 「あなたは～することができますか。」
《Can you+一般動詞～?》, 「このコンピュータを使う」use this computer
(2) 「私は～を読みます。」《I read ～.》, 「(1冊の)本」a book, 「毎日」every day
(3) 「これは～ではありません。」《This is not [isn't] ～.》, 「(1つの)リンゴ」an apple

⑦

- (1)① 直前でナオキが「はじめまして。」と言っていることから、メアリーは「こちらこそはじめまして」と言っていると判断する。
③ 直後でメアリーが「私もネコを飼っています。」と答えており、ナオキは空所の直前で「私はイヌを1匹^{びき}とネコを1匹飼っています。」と言っていることから、「あなたはどうか(=あなたは何の動物を飼っていますか)。」とたずねていると判断する。
⑤ ナオキから「メアリー、あなたはまきば公園を知っていますか。」とたずねられて、メアリーは空所の直後では「私は(その)公園でテニスをします。」と続けていることから、「はい、知っています。」と答えていると判断する。
(2) 「私は～を飼っています。」は《I have ～.》で表す。「イヌを1匹とネコを1匹[1匹のイヌと1匹のネコ]」a dog and a cat
(3) 直前のナオキの「あなたはイヌがほしいですか。」に対して、「はい、とても(ほしいです)。」と答えている。
(4) go to the park「(その)公園へ行く」, with my dog「私のイヌと(いっしょに)」, on Tuesdays and Saturdays「(毎週)火曜日と土曜日に」

- (5)① 本文4行目参照。(○)
② 本文6行目参照。(○)
③ 本文7～9行目参照。(○)
④ 本文9～11行目参照。(×)

there「そこで」とは、まきば公園のことであり、ナオキの家ではない。

【全訳】

- ナオキ : こんにちは、メアリー。ぼくはヒロセナオキです。はじめまして。
メアリー : こちらこそはじめまして、ナオキ。ナオキ、あなたは何の動物を飼っていますか。
ナオキ : ぼくはイヌを1匹とネコを1匹飼っています。あなたはどうか。
メアリー : 私もネコを飼っています。私は私のネコが大好きです、でもイヌは飼っていません。
ナオキ : あなたはイヌがほしいですか。
メアリー : はい、とても。でも、私の父と母はイヌをほしがっていません。
ナオキ : なるほど。メアリー、あなたはまきば公園を知っていますか。
メアリー : はい、知っています。私は(その)公園でテニスをします。
ナオキ : ぼくは(毎週)火曜日と土曜日にぼくのイヌと(その)公園へ行きます。そこでぼくのイヌと遊びませんか。
メアリー : わあ、ありがとう、ナオキ。